

「第4回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」 開催について

2009年8月31日(月)、全日本学生自動車連盟は「第4回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」を開催いたします。本大会は、地球温暖化防止のための「エコドライブ」技術を習得することを目的とした競技会です。

全日本学生自動車連盟では、平成18年より「チーム・マイナス6%」の主旨に賛同し、地球温暖化、環境問題に対して、正面から取り組むことを主眼として「全日本学生対抗チーム・マイナス6%エコドライブコンテスト」を開催してきました。

本大会は、全日本学生自動車連盟および加盟校自動車部として、環境問題に対して積極的に取り組むため、それに必要となる知識や技術等を身につけ、その集大成として開催し、そこで得られた事柄を日々の自動車部の活動に生かす事で、社会的な貢献を行っていく事を目的としています。

本年におきましては、競技車両にハイブリッド車、低燃費車を使用し、参加者に対して、低炭素社会づくりを担う優れた環境技術を体感してもらいます。

またレース当日は、モータージャーナリストの日下部保雄氏〔※1〕、レーシングドライバー荒聖治氏〔※2〕による「エコドライブトークイベント」等を行うなど、レースに参加する学生に対して、エコドライブの啓発を行います。

「第4回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」の詳細については、以下の通りです。

開催概要

- | | |
|------|---|
| 大会名称 | : 「第4回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」 |
| 競技種目 | : タイム及び燃費競争方式エコドライブコンテスト |
| 開催日 | : 2009年8月31日(月) |
| 開催場所 | : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース及び交通教育センター (三重県鈴鹿市、 http://www.suzukacircuit.jp/) |
| 主催 | : 全日本学生自動車連盟 |
| 特別協力 | : チーム・マイナス6% (環境省) |
| 特別協賛 | : 鈴鹿市、本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、鈴鹿サーキット |
| 協賛 | : 社団法人全日本トラック協会、株式会社ブリヂストン、株式会社ウェッズ、昭和シェル石油株式会社、コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社、NOK 株式会社、日本特殊陶業株式会社、カーランドバーデン、社団法人鈴鹿法人会、株式会社ライオンゴム |
| 協力 | : 財団法人省エネルギーセンター、前澤工業株式会社、29TWENTY NINE |
| 内容 | : 主催者にて準備した車両(乗用車3車種)を、それぞれ競技指示書に従って、国際レーシングコース(フルコース)、サーキット外周路、交通教育センター等を走行し、各車種終了後、車を乗り換えながら3車種毎に違った全てのパートを走り、3車種合計のポイント(燃料消費、所要時間等)によって順位を競う競技。 ・競技車両: 3車種(ホンダ・インサイト、トヨタ・プリウス、日産・ノートを使用) ・参加構成: 1チーム2~6名(ドライバー、ナビゲーター) ・走行条件: 窓は全閉、エアコンはONなど同一条件が課せられる。 |

- ・ポイント：全コースでの区間タイム順位＋燃費の合計ポイント及び3車種・3コースを走行した合計ポイントにて総合成績を決定する。

※ ステージ…各車種に定められた競技コースのスタートからゴールまで

参加条件

- ： 全日本学生自動車連盟加盟の学生自動車部の部、及び一般の部(企業・団体、鈴鹿市民、メディア、大学OB、等のチーム)
競技参加者は普通自動車免許取得後一年以上のもの（性別・年齢不問）。
ナビゲーターに限り普通免許不要（ただし一般の部は年齢満16歳以上のこと）。

競技車両について



ホンダ インサイト



トヨタ プリウス



日産 ノート

プログラム（予定）

- 7：45～11：00 座学講習、競技講習、試走等
- 11：30～12：00 開会式
- 12：30～15：00 競技
- 16：00～16：30 表彰式、閉会式

参加チーム (予定)

参加チーム数 : 54 チーム (学生自動車部の部 : 42 チーム、一般の部 : 12 チーム)

学生自動車部の部のうち、女子のみで構成されるチームは「女子学生の部」として別途部門を設ける

| 男子学生の部 | | 女子学生の部 | |
|--------|------------------|--------|--------------------------|
| SM1 | 福岡大学4回生チーム@319 | SW1 | 学習院大学女子チーム |
| SM2 | 東海大学 | SW2 | 関西学院大学女子チーム |
| SM3 | 学習院大学 | SW3 | 東京農業大学女子チーム |
| SM4 | 立教大学 | SW4 | 聖心女子大学 |
| SM5 | 明治大学 | SW5 | 立命館大学女子チーム |
| SM6 | 立命館大学 | SW6 | 関東女子チーム |
| SM7 | 近畿大学 | | |
| SM8 | 広島大学 | | 一般の部 |
| SM9 | 中央大学 | GE1 | モンちゃん |
| SM10 | 大阪工業大学 | GE2 | クッキー |
| SM11 | 西南学院大学 | GE3 | (社)鈴鹿法人会 |
| SM12 | 日本大学 | GE4 | チーム・テイタンズ |
| SM13 | 桃山学院大学チームアンドリュース | GE5 | チーム エコだす! |
| SM14 | 慶應義塾大学Aチーム | GE6 | チーム・マイナス6% (とおるとひろたか) |
| SM15 | 東京農業大学Aチーム | GE7 | 法政大学OBチーム(若者) |
| SM16 | 法政大学 | GE8 | チームAJSAA |
| SM17 | 早稲田大学 | GE9 | チーム FM OSAKA |
| SM18 | 関西学院大学Aチーム | GE10 | |
| SM19 | 大阪成蹊大学 | GE11 | |
| SM20 | 青山学院大学 | GE12 | |
| SM21 | 神奈川大学 | | |
| SM22 | 同志社大学 | | |
| SM23 | 愛知工業大学 | | |
| SM24 | 千葉工業大学 | | |
| SM25 | 鳥取大学 | | |
| SM26 | 工学院大学Aチーム | | |
| SM27 | 慶應義塾大学Bチーム | | |
| SM28 | 東京農業大学Bチーム | | |
| SM29 | 関西学院大学Bチーム | | |
| SM30 | 工学院大学Bチーム | | |
| SM31 | 専修大学 A チーム | | |
| SM32 | 専修大学 B チーム | | |
| SM33 | | | |
| SM34 | | | |
| SM35 | | | |
| SM36 | | | |



[※1] 日下部 保雄 (くさかべ やすお)

大学卒業後モータージャーナリズムの世界へ入り、自動車専門誌をはじめ各媒体に新車の試乗レポートやコラムを寄稿。雑誌媒体の他にも、FM ラジオやインターネット自動車情報サイトでも活躍中。セーフティドライビング・インストラクターとしても精力的に活動。自動車メーカー主催のドライビングスクールにおいてインストラクターを多く努めるほか、自らも各種ドライビングスクールを行なう。

AJAJ (日本自動車ジャーナリスト協会) 会長 / 09-10 日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員

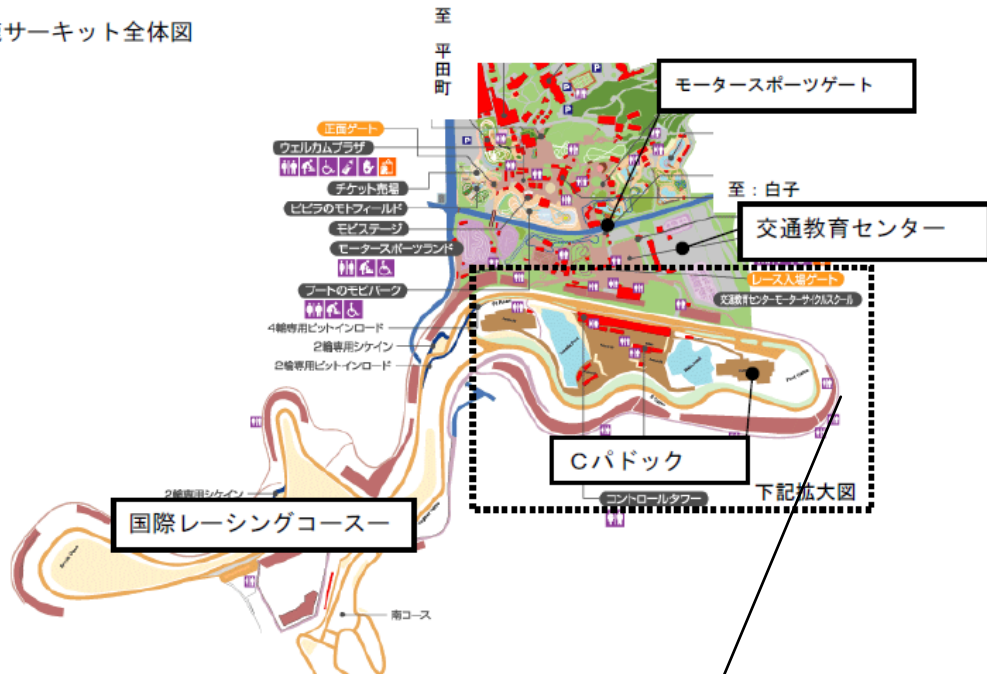


[※2] 荒 聖治 (あら せいじ)

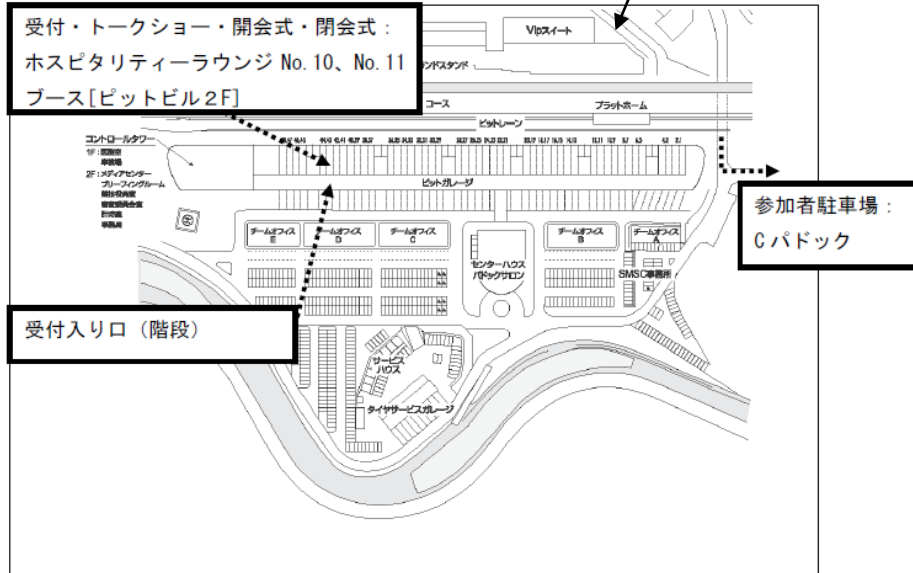
2004 年、日本人では 2 人目となるル・マン 24 時間レースの総合優勝を果たす。海外レースの経験が豊かであるばかりでなく、フォーミュラーカーから GT・スポーツプロトタイプ・市販車ベースであるスーパー耐久など、幅広くマシンを乗りこなし、日本のトップドライバーの 1 人である。

コース概要

鈴鹿サーキット全体図



拡大図



受付・トークショー・開会式・閉会式：
ホスピタリティラウンジ No. 10、No. 11
ブース [ピットビル 2F]

受付入り口 (階段)

参加者駐車場：
Cパドック

全日本学生自動車連盟



【全日本学生自動車連盟について】

全国 100 大学の自動車部が加盟する、国内最大の学生モータースポーツ運営組織。

会長：長谷川聰哲

所在地：東京都江東区森下 1-15-7 〒135-0004

TEL/FAX：03-3634-9197

U R L：<http://www.ajsaa.com/>

E-mail：webmaster@ajsaa.com

「第3回全日本学生対抗 チーム・マイナス6% エコドライブコンテスト」活動記録

開催日程：2008年9月1日(月)

参加チーム：学生の部 35 チーム、一般の部 16 チーム



競技説明



レーシングドライバー道上龍氏と

モータージャーナリスト竹岡圭氏によるエコドライブトークイベント



選手宣誓

男子選手代表：早稲田大学 中島選手

女子選手代表：聖心女子大学 亀田選手



大学別に整列



ルマン式にスタート



高速走行ステージ：憧れの鈴鹿サーキット！



高速走行ステージ
ピット作業に昇立って賞品を持って記念撮影



高速走行ステージ



一般走行ステージ&貨物ステージ
市街地に昇立てたコース



貨物ステージ：配送業務



チェックポイント
タイムカード申告



搭載した燃費計測器



閉会式



各部門優勝者
鈴鹿市長賞の伊勢型紙の賞状

「第4回全日本学生対抗チーム・マイナス6%エコドライブコンテスト」取材申込方法について

申請〆切日 8月27日(木)

鈴鹿サーキット WEBによる暫定メディア取材申請のご案内

★ご取材の際は事前に鈴鹿サーキットへの取材申請手続きが必要となります。

★申請についてはWEB上での暫定メディア申請が必要となります。

※モビリティランド年間メディアパスの方は申請の必要はございません。

■下記の流れに沿い、インターネットにて申請を行ってください。

※複数名でご取材される場合、全員のご申請が必要です。

■暫定取材申請の流れ

1. 下記のモビリティランドメディア申請専用サイトより該当レースを選択して取材申請登録ください。
<https://app.mobilityland.co.jp/media/>
[ユーザー名: media パスワード: mobi3278 を入力]
2. 『申請の流れ』をご確認の上、申請パスで『該当レース・イベント』を選択してください。
3. メディア取材規定をご確認、規約に同意いただいたあとに取材申請を行っていただきます。
4. 申請完了後のページに表示される「取材誓約書を印刷」をクリックし、PDFデータをダウンロードいただき、必要事項の記入、捺印の上、取材当日にメディア受付に提出ください。
5. 鈴鹿サーキットでは、この誓約書が9番ゲートの通行証となりますので必ずお持ちいただき9番ゲートで提示ください。
6. 申請完了直後に、自動的に受付確認Eメールが送付されます。メールが届かない場合は申請が完了していないと考えられますので下記までお問い合わせください。
7. 最終的なパス発行については申請に基づいて取材内容を審査し、承認させていただいた上で、あらためてEメールにてご案内させていただきます。

■映像・動画系媒体・インターネット関係媒体様

上記申請の他に『映像使用についての誓約書』にご記入・ご捺印いただき、企画書と併せて大会5日前までに下記宛てに送付してください。

『映像使用についての誓約書』は上記メディア専用サイトの『申請の流れ』ページよりプリントアウトできます。

送付先住所

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20 ホンダ八重洲ビル9F
株式会社モビリティランド 広報・宣伝販促室 広報課 担当: 上野

■問い合わせ先

株式会社モビリティランド 東京オフィス 広報・宣伝販促室
TEL: 03-3278-0731、FAX: 03-3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 広報・宣伝販促室
TEL: 059-378-5101、FAX: 059-378-4568

- * 申請方法に関するご不明な点、お問い合わせは
株式会社モビリティランド鈴鹿サーキット 広報・宣伝販促室
TEL : 059-378-5101 FAX : 059-378-4568 までお問い合わせください。

注) 31日(月) ご取材前には必ずコントロールタワー2Fメディアセンターにて
取材受付を行って下さい。
当日ご取材に必要なパスをお渡し致します。併せてMS共済会のご加入をお願いいたします。
当日は取材誓約書を必ずご持参ください。
(責任者署名、社印の押印漏れなどないように、ご注意ください)

●ご参考【メディアセンター メディア受付手順】

メディアセンターで下記の通りメディア受付を行います。

当日受付8:30~

コントロールタワー2Fメディアセンターにて

1. 取材誓約書のご提出
2. メディア共済会のご入会

※ご取材されるメディアの皆様には「MS共済会」にご加入いただいております。

ご加入にあたり下記の共済会費が必要となります。

発行パス種はご希望に沿えない場合がございます。

《暫定メディアパス》

Aパス：トラック・ピットレーン・ピット&パドック =5,000円

BPパス：トラック・ピット&パドック=3,000円

BJパス：ピットレーン・ピット&パドック=3,000円

Cパス：ピット&パドック=2,000円

3. メディアパスを配布